

NPO法人 こどもの未来を考える会

2022年度総会議事次第

- 1 開会・挨拶
- 2 参加者自己紹介
- 3 2021年度 事業報告・会計報告・監査報告
- 4 2022年度 役員改選・活動体制
- 5 2022年度 事業計画・予算計画
- 6 交流会

NPO法人 こどもの未来を考える会 2021年度事業報告

①子ども・若者・女性等多世代の居場所づくり、交流事業
5月16日、6月13日 カフェ&スペース飛行船フードイベント

タコライス・中華丼を皆さんで作りに、ひこうせん、ゆめ広場、乙事公民館などで、多くの子供たちや大人のみなさんに楽しんでいただき、食を通じた多世代の居場所づくりをしました。



①子ども・若者・女性等多世代の居場所づくり、交流事業
カフェ&スペース ひこうせんでの週4日の子供の居場所づくり

一緒に遊んだり、勉強したり、楽しい放課後の居場所づくりを実践。
コロナで中止にはなりましたが、こどもレストランの企画やお菓子作りも
こどもたちと一緒に行いました。



アトリエDEFさん、机ラボさん、サムディさんたちとの連携により
竹林整備で伐採した竹を使ったハーブプランターづくり
メンバーの皆さんの協力による「歌」を楽しむ居場所、フェルトちくちく
体験など体験型の学びの場づくりも実践しました。



①子ども・若者・女性等多世代の居場所づくり、交流事業 アートセラピー はなうた (月1回)

毎回違うテーマを与えて、自由創作とシェアリング（作品を発表して分かち合う時間）で1時間半。
＜創作時間＞たっぷりの材料から、使ってみたい興味あるものや好きなものを手に取り、ゼロから考えて好きなようにつくるのが、「はなうた」スタイル！描く、工作、編む、縫う、詩を書く、文章を書く、歌う、踊る、など、楽しいと思える表現を見つけて創作します。

＜シェアリング＞作者が作品について語り、参加者の皆さんが感想や質問をして、お互いにいろんな発見や気づきを得る時間。時に、言葉にできない気持ちや嫌な体験を伝えて、気持ちを浄化したり、共感を得たり。そういった交流を経て、気持ちを取り直す子もいます。



子どもの笑顔を保つ

コロナまん延防止適用で対策と工夫



民間団体

機能維持の「居場所」運営

諏訪地方子ども食堂や子どもの居場所を運営する民間団体の多くが、新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置が適用された以降も、対策と工夫を講じている。子どもの居場所については、できるだけ機能を維持するよう要請。これまで活動が休止する子どももあつたが、影響の長期化や学業や家族の経済的負担が深刻化する中、「必要とする家庭を支え、子どもの笑顔を保ちたい」と願っている。

「提供もお休み中」となつたが、児童の一人は「心配」が多けれど、「ここに来るとそれが消えちゃう」と回答

「NPO法人子どもの未来をかんがえる会が、富士見町信濃町で運営する「カフェ&スペース」(こせい)平日の4日間を放課後の居場所として開放する。試き取り酒場を大急ぎに、換気を実施。スタッフが見守る中、児童は自分で検温や手指消毒をして宿題や読書などを始める。

「3月からは密を回避するため、分散して受け取りに来てもらう形にする。弁当は大人500円、子どもは市の委託事業で3月まで無料で提供。」「生活に本当に困っている住民、家庭が増えていて注文増に対応している。」

「協働会議の木村がほりさん、茅野市」によると、民間の居場所はボランティアに支えられていて、今回の感染力の強さや家庭事情から休まざるを得ない人も出しており、不安や迷いを抱えながらの運営という。「マスクを感ずるながらも民間の居場所が頑張っている。居場所運営はエッセンス・ワーク。公的支援の拡充を求めている」と訴えている。

「NPO法人子どもの未来をかんがえる会が、富士見町信濃町で運営する「カフェ&スペース」(こせい)平日の4日間を放課後の居場所として開放する。試き取り酒場を大急ぎに、換気を実施。スタッフが見守る中、児童は自分で検温や手指消毒をして宿題や読書などを始める。

「NPO法人子どもの未来をかんがえる会が、富士見町信濃町で運営する「カフェ&スペース」(こせい)平日の4日間を放課後の居場所として開放する。試き取り酒場を大急ぎに、換気を実施。スタッフが見守る中、児童は自分で検温や手指消毒をして宿題や読書などを始める。

② 食等を通じたまちづくり事業

4月～6月 カフェ&スペース飛行船として総菜・カフェ事業

10月～シェアカフェとして3人のスタッフによるカフェ・レストラン

安全安心の手作りのお弁当の販売、社共などへのお弁当の提供などを行いました。



カフェスペースを会員に貸し出し、シェアcafe方式によりこだわりの美味しい食を提供、賃料分はNPO法人に寄付をいただきました。

Living things as they are
(ヴィーガンスイーツ・
ヌードル等)



Algae(アルジー)
地域産の果物を活かした
スイーツベトナム・
インド料理

Yukart
酵素玄米

11月6日(土)
START!

Algae
アルジー

Bánh mì

ソフトなフランスパンに80種の新鮮野菜やハーブ、
魚などを数人前ベトナム風のサンドイッチ(バインミー)、
富士見町産のイチゴのチャイラッシーをご用意しています。

【営業日】 金～日曜日不定期 Instagram・Twitterにて告知します
【時 間】 11:30～15:00
【場 所】 コフレ・ヌー・オ・ドゥ・ラ・セ(佐渡橋駅すぐ)
※お申し込み要 予約料 700円



②

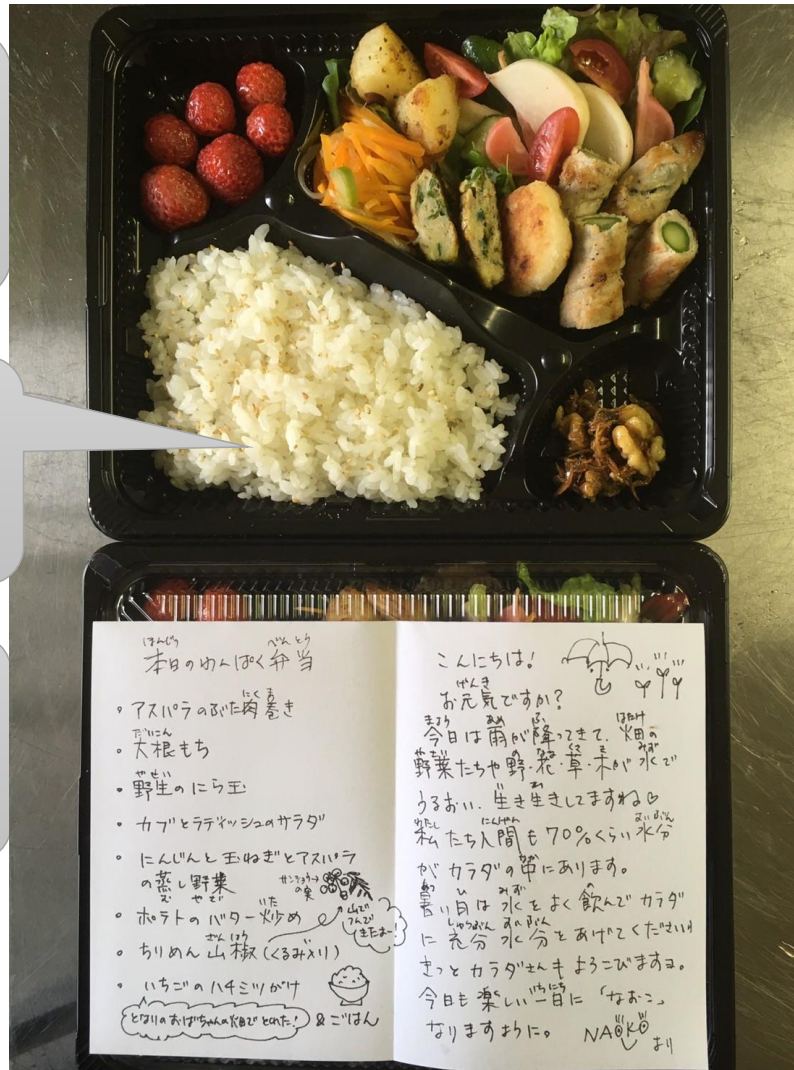
食等を通じたまちづくり事業

富士見町からの委託による見守り（わんぱく）弁当事業

不登校の子ども達に
お弁当を届けて
温かく見守り

フードドライブのお
米（地域の真心米）
の活用

なるべく
地域産の
安心安全な素材



③ 持続可能な地域づくりに関する事業

リユース商品・手作り商品の販売コーナーづくり

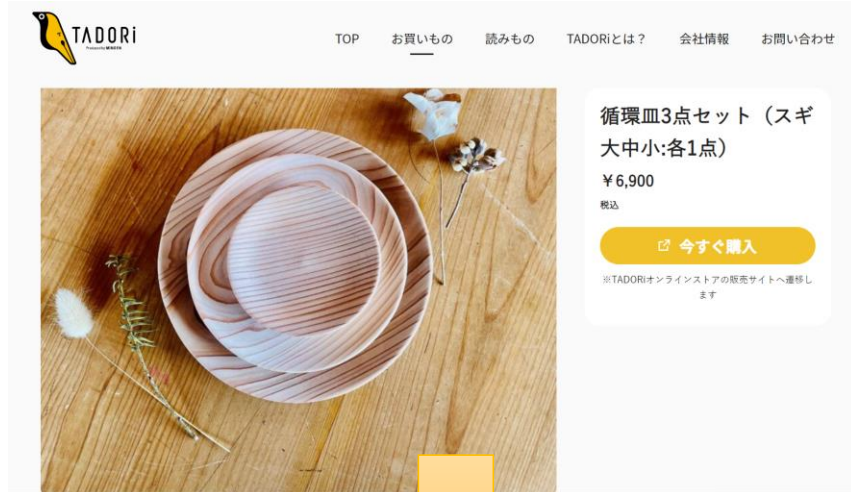
ご自由にお持ちくださいスペースづくり



カフェ&スペースひこうせんが切り絵で紹介

アトリエDEFの端材を利用したお皿の販売収益をこどもの未来を考える会に寄付へ

<https://tadori.jp/>



③ 持続可能な地域づくりに関する事業

富士見まちづくりラボ
(商工会・合同会社きざしとのコンソーシアム事業)



交流
の場

学びの郷

SDGs・地域経済循環のまちづくりワークショップ
等を通じた**リビングラボ**づくり

活躍
の場

地域内経済循環
の実践・協働
プロジェクト

「食」「森」の魅力等を生かした**地域経済循環**の実践

創造
の場

未来を担う
子ども・若者支援

子ども・若者の居場所と創造の場づくり

まちづくりオンライン座談会 #02

神奈川県横浜市に学ぶ

町民が主役のまちづくりとは？

町長、地元企業やNPO、行政など
さまざまな人が集まって地域課題のために協働する
「リビングラボ」って、どうつくる？

2021年 16:00~17:30
7月22日(木・祝) オンラインZOOMにて



ゲスト
河原勇輝さん
株式会社太陽住建
代表取締役



ファシリテーター
中島恵理さん
富士見まちづくりラボメンバー



河原太陽住建



富士見まちづくりラボ



2021年

11月26日(金)
10:00~11:30

【会場】
コミュニティ・カフェ
和茶モン

【定員】
10名(事前申込み)

【参加費】
無料・飲み物を各自でご持参ください。

第一部

大人のお話会

話し手
小林みち子さん
和茶モン店主

元図書館司書の小林みちさんが本を中心にまちづくりの大人のための楽しい時間。
今回は「昔に戻って笑ってしまう絵本」や面白い絵本をご紹介します。

第二部

御柱と富士見

話し手
平出裕一さん
境地区 大総代

ついに来年の4月に開催される御柱祭。
4つのテーマで境地区御柱大総代の平出さんからお話していただきます。
【テーマ】おんぼしらと地域づくり・おんぼしらとは？・おんぼしらに向けた取り組み・伝統の祭りとしての

お申込み 11月25日(木)までにメールまたはお電話でお申し込みください。

✉ kobat000@po6.lcv.ne.jp TEL: 0266-62-4

協力：富士見まちづくりラボ





富士見高原みそ
お届け販売はじめます

作り続けて30年「富士見町 味の会」

味の会のこだわり味噌は大豆から米麹まですべて手作り富士見産。
米麹多めの配合で味わいまるやか、学校給食のお味噌汁にも使われています。
Aコープや道の駅で販売しており、例年なら9月には売切れてしまうのですが、
今年はコロナの影響もありまだ沢山残っています。そこでこの機会に地元の皆様にも
味わっていただきたく町内の配達会社「はなまる屋」と協力し、
お届け販売をすることにしました。ご自宅までお味噌をお届けします。
愛情たっぷり美味しいお味噌をぜひお楽しみください。

主催：富士見町の会、富士見まちづくりが（特定非営利活動法人こどもの未来をかんがえる会、富士見町農工会、合同会社さし）、はなまる屋美天商店株式会社



わたしたちが作ってます！



- ・ 地域内の継続した一定の需要を作り、お年寄り等買い物に行くのが困難な人たち向けに味の会、富士見まちづくりラボ、はなまる屋と連携して、富士見高原みその宅配プロジェクトを展開。

- ・ 宅配便を配達する「ついで配達」により地域内物流を作る社会実験

- ・ 売上の一部はこどもの未来を考える会に寄付

ご注文書 お電話・FAX: 0266-62-6366 お申込日: 2021年 月 日

こちらにご記入のうえ、FAXまたはお電話にてご注文ください。

	数	価格(配送料込)
ふりがな		
お名前	2kg	1,800円
ご住所	5kg	4,000円

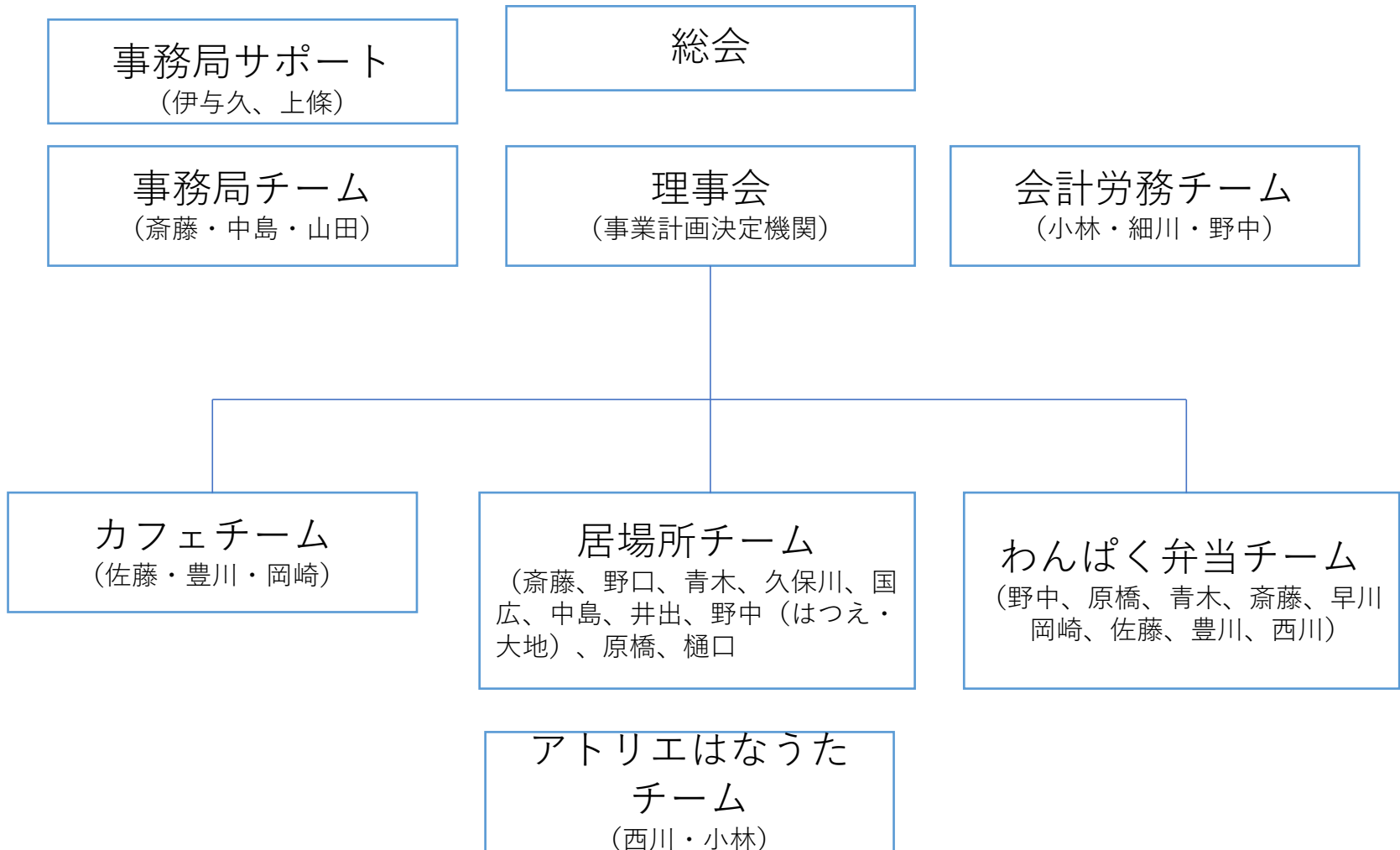
TEL	FAX	希望時間帯	午前 (8:00-12:00)	午後 (12:00-19:00)
配達希望日	11月3週目 11/15(月)~20(土)	11月5週目 11/25(月)~12/4(土)		

●支払い方法は「代金引換(現金払い)のみ」となります。●特定時間指定での配達はいしかなねます。●配達エリアは「富士見町」及び「原村」となります。
※町村内であっても配達不可エリアの場合、ご注文をお断りさせていただく場合もございます。●ご不在の際は不在票を投函させていただきます。再配達受付については不在票に添付された手順にて受付を承ります。※再配達につきましては、品質管理の観点より1回限りの受付となります。●天候や交通状況等により配達が遅れる場合がございます。あらかじめご了承ください。●本事業は「甲信越地域経済活性化推進コンソーシアム」等の取組活動支援補助金の支援を受けて実施しています。



NPO法人こどもの未来を考える会 2022年度役員改選活動体制

理事：中島（代表）、伊与久（副）、山田（副）、斎藤
監事：青木



カフェ・キッチン料金

	カフェスペース	キッチンスペース
会の活動としての利用	無料	無料
理事の利用	無料	3時間単位 500円
カフェスタッフ (会員)	20日以上 3時間単位	月20,000円 500円
シェアキッチン (カフェスタッフの 同意のもと・会員)		3時間単位 1000円
会員イベント企画	3時間単位 1000円*	なし
会員・賛助会員利用	2時間ごとに 1000円*	なし

カフェ・居場所・アトリエはなうた・会活動 優先的に決定

* 冬季期間（暖房利用）1時間毎に500円

NPO法人こどもの未来を考える会 2022年度事業計画

①子ども・若者・女性等多世代の居場所づくり、交流事業

- ・ ひこうせんでの子供の居場所づくり（月、水、木、金）
学校休み期間はスタッフ提案によるイベント開催
オッコー祭りでのイベント出店 等

- ・ アートセラピーはなうた（月1回）

- ・ みんなのえんがわ
（高齢者等地域のみなさんの居場所）
毎月第1、第3木曜日10:30-15:00

②食を通じたまちづくり事業

- ・ シェアカフェ・見守り弁当事業

100円茶飲み場

みんなのえんがわ

6月16日(木)10時30分~15時オープン
(毎月第一・第三木曜日開催)
信濃境駅前 ひこうせんにて(旧夢屋)

10種類のお茶から選べて1杯100円、お菓子もつきます。
一杯のお茶で「こどもの居場所」のおやつ支援(20円)ができます。
持ち込み自由。農協のお弁当や食堂などの定食の持ち込みもOK。
全席イス席。コロナ対策しています。

こんなお茶が飲めます。コーヒー 緑茶に加えて

気になるあのお茶				
	おしゃれなあのお茶			

連絡先 みんなのえんがわ担当 森山 電話 0266-65-3358 青藤 090-1452-1001

③持続可能な地域づくり事業

○ひこうせんでのリユース・リサイクル事業

- ・ 地域の手作り品販売事業
- ・ 会員の研修・学びの場づくり
- ・ 会員のみなさんのアイデアでわくわくする・地域を元気にする活動を展開



○富士見まちづくりラボ事業

- ・ 学びの郷：協働農園プロジェクト

富士見高校総合学習支援プロジェクト

- ・ 地域経済循環プロジェクト

やつリンクを通じたSDGSの地域づくり支援

ゼロカーボンプロジェクト（太陽光と地域共生）

